

## 第7期 財団法人こしじ水と緑の会事業計画

(平成18年10月1日～平成19年9月30日)

はじめに

本事業年度も自然環境の保全活動及び研究活動に対する助成事業と財団独自の諸活動を柱とし、以下の事業を実施する。特記すべき事業として、森林保全に関わる活動を学びながら進めるために取得した「朝日城の森」に関わる活動がある。現況の調査や維持管理をすすめながら、地域の里山が抱える課題を考える地域市民を交えて考えるワークショップの開催や自然学校事業等を通じて活動を広げたい。

また、公益法人制度改革をうけ、新制度下での公益財団法人を目指すことも視野に入れて事業の展開を考えていく必要がある。

### 1. 助成事業

助成事業は一般助成、特別助成からなる。一般助成は、公募を行い、選考委員会で決定するもので、基本的に県内での調査研究活動や実践活動を支援する。特別助成は、緊急に助成が必要な事業に対し助成するもので、選考委員会で決定する。

第4期助成事業の助成期間が前期末月で終了したことを受けて、第4回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会を開催する。

なお、詳細は以下のとおりとする。

#### (1) 一般助成(公募を行い、選考委員会で決定)

- ・第6回資金助成応募受付開始を地元新聞社をはじめ公的窓口へニュースリリースを行ない告知する。(平成18年11月1日)
- ・応募者は、財団所定の申請書に必要事項を記入し、その他の書類とともに事務局に提出。
- ・応募期間は、平成18年11月1日から平成19年1月31日まで。
- ・助成金の総額は約450万円。(1件あたり最高30万円、約15件)
- ・助成先の決定は、平成19年3月16日(金)までにおこなう。
- ・助成金交付式は、平成19年4月1日(日)に開催予定。

#### (2) 特別助成(緊急に助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定)

- ・理事の推薦と理事長の承認に基づき、緊急に助成が必要な事業に対し、公募の手続きを経ずに行う。(但し、申請書を提出のこと)

#### (3) 第4回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会の開催

期 日：平成18年11月3日(金)を予定

時 間：13:30開会、16:30閉会

会 場：朝日酒造株式会社 事務棟2階 会議室

内 容：助成活動団体(個人)毎に、持ち時間10分にて発表を行なう。

開催に合わせて、予稿集を200部作成、来場者に配布する。

発表会終了後、希望により財団役員・発表団体・聴講者との交流会をおこなう。

## 第7期第1回

### 2. 財団独自の事業

財団自らがその目的を達成するために、以下の活動をおこなう。

#### (1) 「朝日城の森」保全・整備事業

「朝日城の森」の動植物調査及び基本整備活動を継続すると共に、地域の里山が抱える課題を考える地域市民を交えて考えるワークショップの開催を試みる。

#### 第7期の活動計画

「越路の里山を考える会」の開催

地域の市民を交えて里山問題を考える。「朝日城の森」を事例として里山が抱える課題や利用のアイデアを考える。

(案) 期日：平成19年6月9日(土)

会場：朝日酒造株式会社 事務棟2階

対象：「越路の里山を考える会」参加メンバー、公募による一般市民、他。

内容：「朝日城の森」巡検、利用に向けたワークショップ

現況調査を継続(動植物の調査)し、今後の整備計画立案への基礎資料とする。境界道や管理道、城址山頂部のススキ群落等、維持管理レベルの整備(除草や樹木の剪定等)を定期的に行なう。

「自然体験学校」のフィールドとして活用する

標識看板等の仮設置

- ・「入口看板(朝日城の森)」「散策路標識(行く先矢印)」等
- ・散策道沿いの樹木について、調査済みの植物リストより代表種を選び、樹種名を掲示する作業に着手する。

取得山地の内、一部境界確認が取れていない部分につて、山地図を新たに作成し、境界を確定することで、利用上の担保とする。

(2) 水と緑を尊ぶ心を育てる「水と緑の自然学校」事業については、森林をテーマに朝日城の森を会場として、子どもから大人までを対象に、森林体験プログラムを提供する。また、河川環境に由来する「水」をテーマにした自然学校プログラムについても試行を検討する。なお、運営に際しては財団役員や当財団と関係する助成先団体等からの支援を検討する。

(3) 河川環境の問題を渋海川をモデルに照らし出すために、新潟大学工学部の研究室に委託調査研究を第6期に引き続き継続する。

### 3. 普及啓発事業

(1) 当財団の活動状況と助成事業の紹介などをするために、会報を年6回定期的に発行する。発行予定月は11月、1月、3月、5月、7月、9月とする。

(2) 当財団ホームページの定期更新につとめ、財団活動の紹介をおこなう。

### 4. 会員募集

(1) 個人会員、法人会員の募集をあらゆる機会を捉えておこなう。対象範囲は新潟県内に限らず、当財団の目的、活動を支援してくれる個人、法人を広く勧誘する努力をお

## 第7期第1回

こなう。特に県外については、当財団の理事、監事、評議員から多大なご協力をお願いする。

(2) 県内・県外(首都圏)会員及び同地域内の会員希望者を対象とした「第4回こしじ水と緑の会に集う会」を開催(会費制)する。

期 日：平成19年4月21日(土)13:30 朝日酒造へ直接集合(県内外会員共)

県外会員は、都内よりバス利用

4月22日(日)12:00 長岡駅前 解散

募 集：40名

会 場：越路地域(巡検)及び蓬平温泉(宿泊・交流会)

内 容：会員及び会員希望者を対象に、当財団の活動紹介、越路地域等の巡検、助成先団体の活動紹介、交流会を予定。財団活動に理解を深めていただくことで、会員拡大につなげる。(巡検地案：朝日酒造・松籟閣、ホテル生息地(岩田地区勝保河内、塚山地区牛の首、山古志地域方面等))

### 5. 収益事業

当財団の財政基盤強化のために、一定の収益事業を継続しておこなう。財団所有の建屋を賃貸し、基本財産の効率的運用を図る。

### 6. 土地取得のための積立て

将来的な朝日城の森に関わる近接地の取得及び野生動植物の生息環境として重要な里山や水辺などを開発から守るために、土地取得のための積み立てを引き続きおこなう。

### 7. 基本財産の充実

健全な運営ができるよう基本財産の更なる充実が必要である。そのため、会員拡大と並行して寄付金を募り、これを基本財産に繰入れる。

以上